

編集委員がインタビュー!

みんなの ひろば



このコーナーでは、町内で活動している皆さんのところに編集委員がおじゃまして、活動内容を伺っています。

玉村町の交通安全のために!

『交通安全協会玉村支部』です

「無くす事故 群馬の道から わが身から」のスローガンを掲げて、交通安全のために活動しています。男性13人・女性9人の支部員で頑張っています。



主に行っている啓発運動

- 春・秋の全国交通安全運動
- 夏・冬の県民交通安全運動
- 毎月1日、15日の県民交通安全日の街頭指導
- 4月の新入生に対する街頭指導
- 花火大会・ふるさとまつりでの交通指導
- 保育所・幼稚園の交通安全教室
- 「高齢者と子ども」「歩行者と自転車」「夕暮れ時と夜間」の交通事故防止運動による交通安全の啓発



今回、玉村町の「交通安全協会」取材しました。町の交通安全のために、使命感を持って活動している人たちでした。これからも、町の交通安全のために、よろしくお願いいたします。(取材：石内國雄)

支部長さんから ひとこと

高齢者の交通事故や 中学生・高校生の自転車事故を防止したい

玉村町で多い事故は、一時停止違反による交通事故です。皆さんには、周りをよく見て、安全に注意してほしいと願っています。

また、さらなる町の安全確保のために、支部員を募集しています。男女5人ずつ10人の増員を目指していますので、ぜひ参加してください。

活動・参加に関するお問い合わせは
交通安全協会玉村支部
支部長 間瀬嘉明さん ☎ 65-2059

編集後記



6月定例会では、当町の防災体制に関する一般質問を、多くの議員がとりあげていました。千年に一度と言われる大地震であり、町民の関心も高い問題だと思えます。町内でも、地震による家屋の被害がありました。五料橋に段差が生じ、何日か通行止めとなり、日々の生活に大きな不便が生じました。幸い、当町の小中学校等の耐震化工事はすべて完了しており、子どもたちに少しは安心感を与えることができたと思うと、耐震化工事を前倒して実施しておいてよかったと、本当に思います。

「備えあれば憂いなし」とよく言われますが、本当にこの言葉を実感した今回の地震でした。想定外という言葉もよく使われましたが、備えには、当然限界があります。万全の備えなど不可能です。議員には、備える必要がある事柄は何か、備えは十分か、想定に問題はないか等々について日ごろから検証し、改善を絶えず図っていく姿勢が求められていると思います。被災地の皆様の復興へのご努力に深甚なる敬意を表するとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

原 幹 雄

議会広報特別委員会

- 委員長 原 幹 雄
- 副委員長 石内 國 雄
- 委員 笠 原 則 孝
- 委員 筑 井 あ け み
- 委員 備 前 島 久 仁 子
- 委員 川 端 宏 和
- 議 長 宇 津 木 治 宣



次号は11月1日頃
お届けする予定です